

令和6年度 全国学力・学習状況調査  
教科に関する調査結果及び考察について

保護者の皆様へ

白河市立白河第三小学校長

令和6年4月18日に実施しました「全国学力・学習状況調査」の教科に関する調査結果及び考察についてお知らせいたします。

この調査は、学校における児童への教育指導や学習状況の改善等に役立てることなどを目的としています。

調査対象は6年生で、国語、算数の2教科を実施しました。

本校では、教科に関する調査結果とその考察、ならびに指導方法を改善する取組をお知らせし、学校と保護者や地域の方々がともに手を携えて、児童の学力向上や学習環境などの改善に取り組んで参りたいと考えておりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の一部であること、また、学校における教育活動の一側面の結果であることをご理解ください。

【本校と全国の平均正答率比較】

教科	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
国語	67.7%		○			
算数	63.4%	○				

【国語：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
言葉の特徴や使い方に関する事項	64.4%	○				
情報の扱い方に関する事項	86.9%					○
我が国の言語文化に関する事項	74.6%					○
話すこと・聞くこと	59.8%	○				
書くこと	68.4%	○				
読むこと	70.7%					○

【考察】

- 「言葉の特徴や使い方に関する事項」の漢字の書き取りに課題がありました。漢字を文の中で正しく使うことができるように、家庭学習を継続的に行い、定着につながる指導をしてまいります。また、本校で年3回実施している「漢字コンクール」に向け、今回の結果を踏まえての授業改善を行い、課題解決への手立てとしてまいります。
- 文章に書くことを決めるために、どのように考えたのかについて説明した内容を選択する問題で課題があります。授業の中で文章を書くときに、目的や意図に応じて、集めた材料を分類したり関連付けたりして、伝えたいことを明確にするよさを実感できるよう授業改善を図ってまいります。

【算数：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
数と計算	66.0%	○				
図形	66.3%	○				
変化と関係	51.7%	○				
データの活用	61.8%		○			

【考察】

- 速さの問題では、道のりと時間の関係について考察したり、道のりが等しい場合の速さについて時間を基に判断し、その理由を記述したりする問題で課題がありました。日常生活との関連の中から問題を見つけ解決する活動を位置づけながら、速さの意味や表し方についての理解が定着していくように、授業改善を図ってまいります。
- 「数と計算」の領域では、計算に関して成り立つ性質を利用して考察したり、除数が小数である場合の除法の計算をしたりする問題で課題がありました。問題場面の式の意味を話し合ったり、解き方を文章で説明したりする活動に繰り返し取り組ませてまいります。

## 令和6年度 全国学力・学習状況調査 質問紙調査結果及び考察について

保護者の皆様へ

白河市立白河第三小学校長

「全国学力・学習状況調査」では、学習や生活の状況について質問紙による調査も実施しましたので、一部ですがその結果及び考察をお知らせいたします。

特に、児童の家庭学習の取組や授業の様子に関する調査結果を公表し、学校と家庭・地域の協力体制を強化していくことを目的としています。

この結果を、ぜひご家庭でも子どもさんと一緒に話し合っ、家庭生活の見直しに役立ててくださるようお願いいたします。

- 1 分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか。

		できている	どちらかといえば できている	どちらかといえば できていない	できていない
小	全 国	30.3	50.4	16.2	3.1
6	白三小	40.2	50.0	8.5	1.2

(単位 %)

### 【考 察】

- 全国平均と比較すると自分で学び方を考え、工夫して取り組んでいる児童が多く約90%の子ども達ができていると感じています。授業の中で、自分の考えを説明したり、友達の考えを聞いたりすることで、さらに考えを深め子ども達が主体的に学習に取り組めるようにしていきます。
- 子ども達が、自分でテーマを見つけながら探求活動に取り組み、自分なりの方法で調べたり、まとめたりする活動を大切にすることで、より自分から学び方を考えられるようにしていきます。

- 2 授業時間以外に、普段（月～金）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。

		3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分未満	全くしない
小	全 国	11.0	12.5	31.1	27.0	13.0	5.3
6	白三小	4.9	9.8	34.1	35.4	11.0	4.9

(単位 %)

### 【考 察】

- 約半数の子どもが、学年の目標である「学年×(10～15分)」(6年生は60分～90分)の学習に取り組んでいることがわかります。一方で、学年の目標時間に達していない子どもも約半数いることから、個別に課題を選択できるようにしたり、自主学習のよい取り組み例を紹介したりして、家庭学習のやり方を広く共有し、児童が主体的に学習に取り組めるようにしていきます。
- 今後も、本校の「家庭学習の手引き」を基に、「目をかけて」「声をかけて」「心をかけて」を合い言葉に、保護者の皆様と共に子ども達を育てていきます。

3 学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか。

		当てはまる	どちらかといえば 当てはまる	どちらかといえば 当てはまらない	当てはまらない
小	全 国	31.9	48.9	16.0	3.1
6	白三小	35.4	53.7	9.8	1.2

(単位 %)

【考 察】

- 約90%の子ども達が、既習した学習を次の学習につなげることができていると感じていることから、継続してより充実した学習ができるような働きかけを教師側で行い、学力向上につなげていきます。
- 自己マネジメント力の向上を図り、自分で考え、計画し、実践していくことができるように、継続して指導していきます。

4 学校に行くのは楽しいと思いますか。

		当てはまる	どちらかといえば 当てはまる	どちらかといえば 当てはまらない	当てはまらない
小	全 国	47.2	37.6	10.2	5.0
6	白三小	56.1	35.4	8.5	0.0

(単位 %)

【考 察】

- 本校では、「Q-Uテスト」を活用したよりよい学級づくりや、「ハッピータイム」での子ども達のよりよい人間関係づくりに取り組んでいます。また、互いの考えを聴き合うことを大切にした授業に取り組んでいます。このような活動を通して、子ども達は人間関係を構築し、よりよい学校生活を送ることができていると考えます。今後も子どものよさを認め、さらに伸ばしていく指導や支援を継続し、様々な学習活動への意欲につなげていきます。
- 「Q-Uテスト」「困り事アンケート」「あのね作文」を計画的に位置づけ、子ども達の困り感に寄り添い、早期対応できるような体制を整えています。今後も学級の状況や子どもとの関わり方について研修を深めると共に、子ども達一人一人を大切にし、子どもの考えを見取ったり、状況に応じて関わったりする教師の指導力向上に努めていきます。